

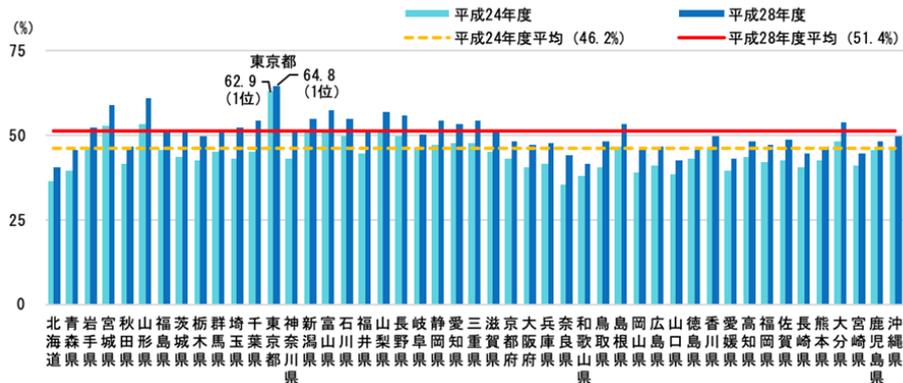
特定健康診査・特定保健指導の現状の課題

1 特定健診の状況

- ・特定健診は、都全体でみると高い

平成 28 年度：東京都 64.8%（第 1 位） 全国平均：51.4%

（出典：都民医療費の現状と今後の取組（第二期東京都医療費適正化計画）実績評価）

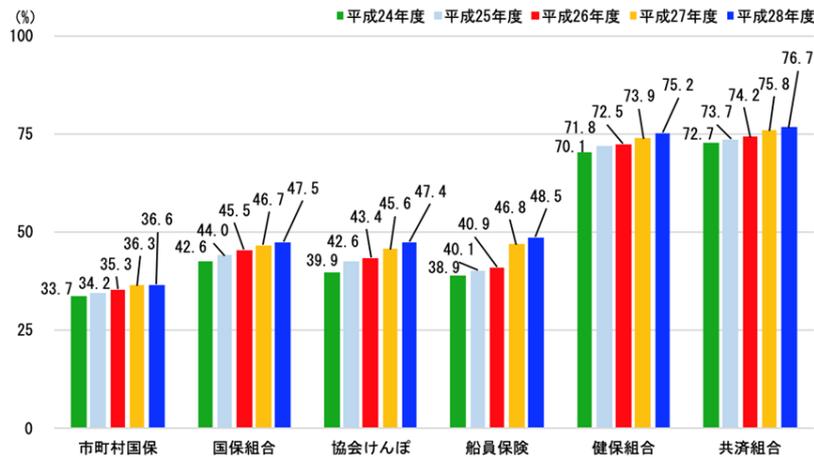


- ・特定健診の実施率は、国保は低い

平成 28 年度：健康保険組合 75.2%、共済組合 76.7%、協会けんぽ 47.4%

（全国値） 区市町村国保 36.6%、国保組合 47.5%

（出典：都民医療費の現状と今後の取組（第二期東京都医療費適正化計画）実績評価）



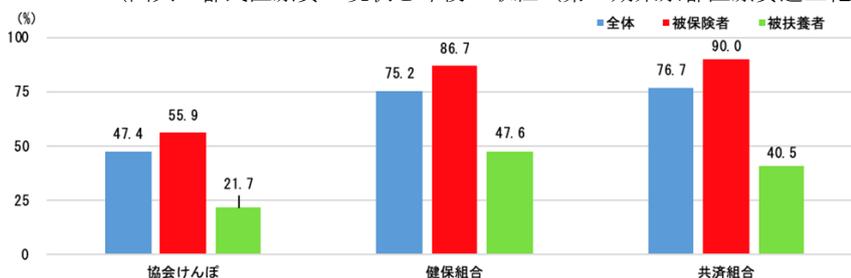
- ・被用者保険は、被扶養者の特定健診の実施率が低い

平成 28 年度：健康保険組合 75.2%（被保険者 86.7%、被扶養者 47.6%）

共済組合 76.7%（被保険者 90.0%、被扶養者 40.5%）

（全国値） 協会けんぽ 47.4%（被保険者 55.9%、被扶養者 21.7%）

（出典：都民医療費の現状と今後の取組（第二期東京都医療費適正化計画）実績評価）

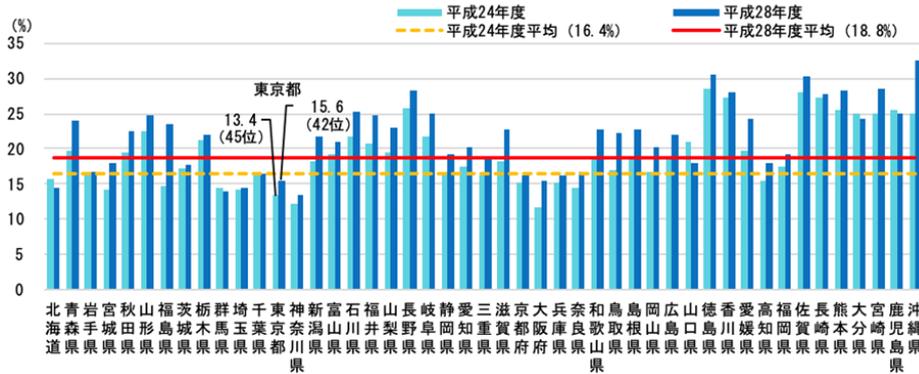


2 特定保健指導の状況

- 東京都は、特定保健指導の実施率が低い

平成 28 年度：東京都 15.6%（第 42 位） 全国平均：18.8%

（出典：都民医療費の現状と今後の取組（第二期東京都医療費適正化計画）実績評価）

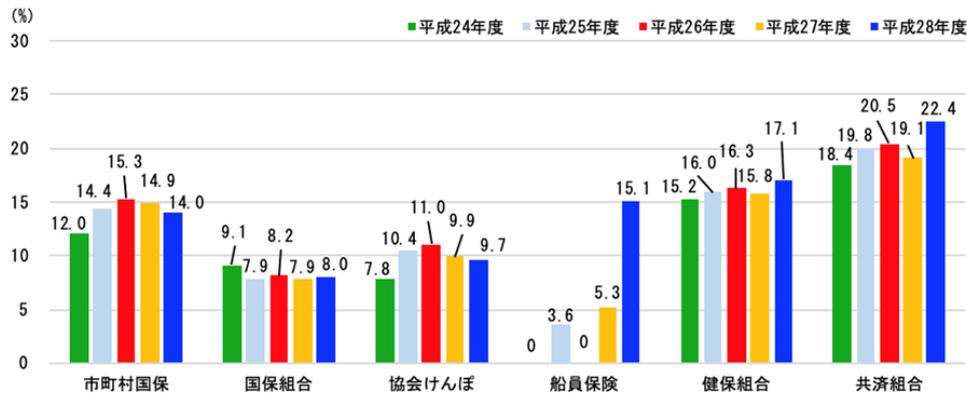


- 特定保健指導は、特に協会けんぽと国保が低い

平成 28 年度：健康保険組合 17.1%、共済組合 22.4%、協会けんぽ 9.7%

区市町村国保 14.0%、国保組合 8.0%

（出典：都民医療費の現状と今後の取組（第二期東京都医療費適正化計画）実績評価）



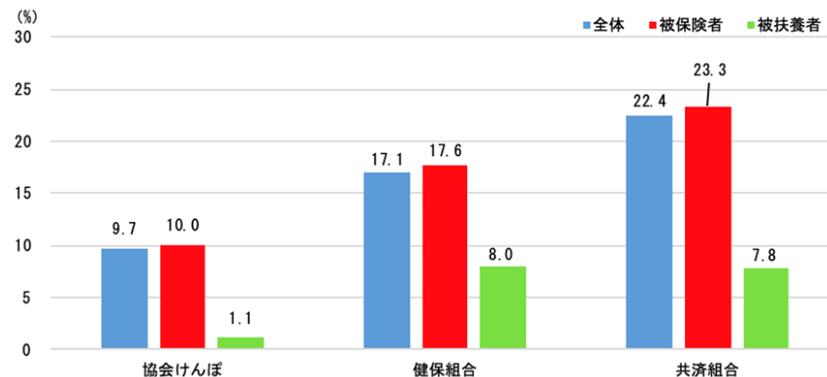
- 被用者保険は、被扶養者の特定保健指導の実施率が低い

平成 28 年度：健康保険組合 17.1%（被保険者 17.6%、被扶養者 8.0%）

共済組合 22.4%（被保険者 23.3%、被扶養者 7.8%）

協会けんぽ 9.7%（被保険者 10.0%、被扶養者 1.1%）

（出典：都民医療費の現状と今後の取組（第二期東京都医療費適正化計画）実績評価）

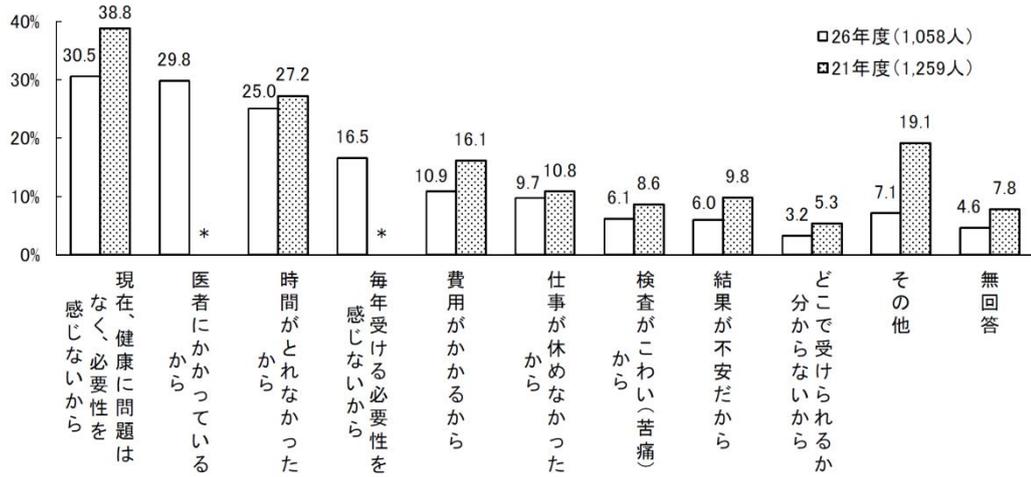


都民の未受診理由

1 健診を受けなかった理由

- 1位 現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから (30.5%)
- 2位 医者にかかっているから (29.8%)
- 3位 時間がとれなかったから (25.0%)

(出典：平成 26 年度東京都福祉保健基礎調査)



2 保健指導を受けなかった理由

- 1位 現在、健康に問題はなく必要性を感じないから (34.7%)
- 2位 時間がとれなかったから (31.8%)
- 3位 指導を受けなくても生活習慣改善について知識があり必要性を感じないから (25.9%)
- 3位 いつも同じことを言われるから (25.9%)

(出典：平成 26 年度東京都福祉保健基礎調査)

